

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.180 (2009年1月21日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

当面の
日程

1月22日(木) 第2回五役会議 10時

第2回執行委員会・第1回地協代表者会議 13時30分

23日(金) 何でも労働相談ダイヤルスタッフ会議 11時

27日(火) 地研分科会最終打合せ会議 14時(労館502号)

希望と展望を語る社会をつくろう!



連合徳島と県労働者福祉団体合同の2009年新年互礼会が1月8日、阿波観光ホテルで開催され、約160人が出席した。

司会に小松事務局長と富田副会長、四国労働金庫・藤原常務理事の開会あいさつに続いて、主催者を代表して川越・連合徳島会長は「昨年一年間を表す漢字は『変』だったが、今年は転換の『換』としたいと思う。『換』は『取り替える』『変更する』という意味で、英単語にすれば『Change』である。来るべき解散・総選挙では、何としても仙谷・高井・仁木の勝利を勝ち取りたい、その原動力の

役目を果たしたいと思う。連合徳島として、緊急雇用労働相談を実施したが、多くは派遣労働者をはじめとする非正規労働者からの解雇など深刻な相談だった。派遣法一つをみても雇用調整を前提にしている法であり、雇用確保は労働者の権利ではないという法の不備を是正すべきだ。労働組合の限界は感じながらも労働相談・緊急支援を精一杯行っていく。また、09年春季生活闘争も産業構造を転換し、内需拡大のためにも労働分配率の反転、物価高の可処分所得を補填する立場からも賃上げを求めていくべきだと思う。変換の年にするため力いっぱい取り組むので、皆様のご支援とご協力を」と決意のあいさつを行った。

続いて、来賓として飯泉・県知事、本田・徳島市副市



長、吉田・鳴門市長、高井衆議院議員、中谷参議院議員、仁木3区総支部長、連合議員ネットワークを代表して庄野県議から、それぞれあいさつを受けた。その後、久積・労福協会長の音頭で乾杯が行われ、出席者は終始なごやかに歓談されるなど交流を深めた。

最後に、大松・全労済理事長の閉会のあいさつと三本締めで新年互礼会を終了した。

第29回地方研究集会 に参加を!

第29回部落解放・人権徳島地方研究集会が2月25日(水)~29日(木)の2日間、徳島市文化センター他で開催される。積極的な参加をお願いします。

主催 第29回部落解放・人権徳島地方研究集会実行委員会

後援団体 連合徳島、部落解放徳島地方共闘会議、徳島県、県教委、市長会、町村会、県経営者協会 など43団体
対象 部落差別の撤廃と基本的人権の確立を願う全ての団体と個人

集会日程

全体集会 2月25日 13時~16時半

分科会 2月26日 9時半~16時
規模 約2,000人

参加費 2,500円

スローガン すべての力を集めて「部落解放・人権政策」を確立しよう。反差別・人権の確立・福祉の向上をめざした県民運動を展開しよう。

基調講演 「部落解放運動をめぐる今日の情勢と課題」部落解放同盟中央本部執行委員長 組坂 繁之

特別報告「ともに生きる」県肢体不自由児協会徳島支部顧問 圓井美貴子

記念講演 「情報化社会と人権」

日本人権ジャーナリストの会

事務局長 北口 学

分科会(2日目)

部落解放・人権教育 ~ (阿波観光ホテル) 社会教育と啓発(ふれあい健康館) 狭山・共同闘争(県職員会館) 企業・職域(郷文) 自治体の課題(郷文) 男女平等(ジェンダー)(文化の森)の8分科会

詳細の問い合わせ先

連合徳島・加村までご連絡ください。

TEL 088-655-4105